

広報

東峰

TOHO

12

DEC/2009/Vol. 57 E-mail: kikaku@vill.toho.fukuoka.jp URL: <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

福岡県東峰村
毎月1日発行

おらが村の ニュース&

爽やかな秋風と芸術体験

■秋体験ウォーキング

10月25日（土）、秋体験ウォーキングが開催されました。今回が初の試みで県内外から35名の参加がありました。午前中は小石原森林公園の遊歩道、約4.5kmのウォーキングを楽しみました。昼食の「自然食バイキング」は、「東峰そんみん塾」のみなさんの協力をいただき、山の幸の手づくり料理がズラリと並びました。午後からは陶芸体験とクラフト体験に分かれて秋体験を楽しみました。陶芸体験では窯元5軒の作業場で普段体験できない「ろくろ体験」を直接指導してくれるという、プレミアムな体験に参加者は大満足の様子でした。クラフト体験ではウォーキング中に拾った木の実や葉っぱと小枝を使ってのネイチャークラフト作りを行いました。「自由な発想とあそび心」で、大人も子供も2時間の作業時間があっという間に過ぎているようでした。



▲森林公園内のウォーキングの様子です



◀熱心に指導していただきました



▲おいしそうな自然食のバイキング



▶思い通りの作品ができましたか？



▲抹茶のサービスもありました

東峰村のPRを行いました

■筑後川フェスティバル in 福岡

10月31日（土）、11月1日（日）の2日間、福岡市役所・ふれあい広場をメイン会場に「第23回筑後川フェスティバル」が開催されました。福岡都市圏と筑後川流域圏が一層豊かで持続できる生活の場となるように住民の交流を目的としたもので、筑後川流域市町村の交流物産展のほかに水環境サミットやシンポジウム、環境フェアなどが行われました。村からは小石原焼の展示・販売を行い、東峰村を大いにPRしました。



トピックス

東峰村の交通安全に貢献いただきありがとうございます

■福岡県交通安全功労者賞受賞

東峰村交通安全指導員をされている中嶋一永さんが「第25回福岡県交通安全県民大会」において福岡県交通安全功労者賞を受賞されました。この賞は、長年にわたり交通事故防止及び交通安全普及啓発活動に尽力された方に福岡県より贈られるものです。

中嶋さんは、旧宝珠山村時代からあわせて30年以上指導員を務められている実績を認められての受賞となりました。おめでとうございます。

今後ますますのご活躍が期待されます。



日頃の活動が評価されました。おめでとうございます

■福岡県農林水産まつり 農林水産省（優秀賞）表彰式

11月7日（土）福岡県農林水産まつり 農産部門（優秀賞）に東峰中部集落営農組合が選ばれ、アクロス福岡国際会議場にて表彰式が行われました。

表彰の理由として、集落内の農作業の共同化のほか、農業体験交流活動に積極的に取り組まれる等、地域活性化活動の中心的役割を担っていることが評価されました。

優秀賞受賞おめでとうございます。今後も地域活性化の活動を続けて頂けたらと思います。



晴天の中、自然を満喫されました

■紅葉トレッキング

11月7日（土）、紅葉トレッキングが行われました。今年44名の参加があり、浅間山登山口→浅間山→岳滅鬼山→小鹿田皿山の約10kmのコースを2班に分かれてトレッキングを行いました。浅間山山頂から岳滅鬼山への縦走ルートでは、ブナの原生林や紅葉を楽しみました。また、ゴール地点の小鹿田皿山では、窯元を散策される方もいました。

新たに開拓されたコースに参加者のみなさんは満足されたようでした。



▲岳滅鬼山山頂にて



▲ブナ林を歩く参加者



▲ゴール地点の小鹿田皿山でみんな揃って記念撮影



東峰村 バスハイク

11月21日(土)に東峰村バスハイクを行いました。今回のバスハイクは熊本の通潤橋と水前寺公園に行きました。風は冷たかったものの、皆さんの願いが届いたのか、心配されていた雨は降らずに目的地を巡ることができました。下は1歳の子どもさんから、上は90歳の方まで65名の参加がありました。最初に訪れた通潤橋は高さが20mもある石橋で、その中を農業用水が通っています。正午に行われる観光放水では、その迫力に参加者の方も歓声をあげていました。

次に行った水前寺公園は300年以上前に築かれた、桃山式回遊庭園です。参加者の方は写真を撮ったり、散策をしたり、思い思いに過ごしていました。

皆さん帰りにはたくさんのおみやげと思い出を持って帰っていたようでした。でも、本当に雨が降らなくて良かったですね!

公 民 館

▲(少し寒かったけど...) 大迫力の観光放水!



▲水前寺成趣園(水前寺公園)



▲通潤橋をバックに乗車バスごとに集合写真!▲

東峰 Jr. みらい塾 秋祭り出店

11月1日(日)に行なわれた東峰村秋まつりに『東峰 Jr. みらい塾』のみんなで古代米と古代米で作ったポン菓子のお店を出しました。この古代米は、宝っ子探検隊の子どもたちが田植えから稲刈りまで大事に育てたお米です。

当日は雨天にも関わらずたくさんのお客様に足を運んでいただき、子ども達もとても楽しんでいる様子でした。地域の皆様の暖かいご協力と、お手伝いをしてくださった保護者の方々のおかげで、子どもたちの古代米も見事に完売しました!!

自分達で育てたお米をお店に出し、積極的に販売する。育てること、働くことの大変さを身をもって実感できたと思います。地域の方との交流もでき、子どもたちもとても良い経験ができたと思います。ありがとうございました。



▲雨の中、一生懸命頑張りました!

ひろば

女性地区団体連絡協議会 視察

公民館では年に1度、女性間の交流と見聞を広めるために村内の女性の方に声をかけて視察研修を行っています。今年度は10月28日(水)、八女郡立花町へ行きました。立花バンブー工場では後継者不足で荒れ果てた竹林の竹を使い、竹炭を製造していました。自然のパワーを有効利用し、様々なアイデア商品が作られていました。その後、ワイン工場と八女伝統工芸館を見学して研修を終えました。視察を通して親睦を深め、女性達が横のつながりを持って、活動していけるように、今後も皆さんのご協力をお願いします。



食育講演会

11月19日(木)にいずみ館において食育講演会が開催されました。講師はNPO法人「栄養ケア・ちっこ」会員の原清子先生にお願いいただき「食べ物体だけでなく心も育てます」という演題で講演をしていただきました。子ども達の食をめぐる現状や、健康寿命の現状、要介護になる原因など、子ども向けのお話から大人の方への話まで幅広くお話をいただきました。近年は自給率の低下や、安全性、マナーなど様々な食を取り巻く話題が毎日のように取り上げられています。皆さんの食生活、大丈夫ですか？

今一度、見直してみましょう。



▲パソコンを使った分かりやすい講演でした

あじわい学級、女性学級 合同視察

11月24日(火)、あじわい学級と女性学級と合同で、地域資源の掘り起こしという視点から、大分県竹田市の「エリアラボたけた」に視察に行きました。地元のものを生かしたモノづくりにより、起業や雇用の場を創って、働く人もお客様も住む人も生き生きしようという取り組みの話をお聞かせいただきました。本村においても、他から持ってくるのではなく、地域の資源を利用して、東峰村らしさを発信していけたらと思いました。午後からは岡藩時代の面影を残す武家屋敷通りを散策して、親睦を深めた1日でした。



▲「エリアラボたけた」で説明を受ける参加者

読書まつり

小石原公民館において、11月25日(水)に読書まつりを開催いたしました。小石原小学校の図書委員さんによるペープサート「ブレーメンの音楽隊」は、練習の成果が十分に発揮された素晴らしい発表でした。また「おはなしの広場」の皆さんによる手遊び、読み聞かせは、毎年子ども達が楽しみにしている時間です。今年も会場内があっただくなるようなステキな時間を作ってくれました。この時期は夜が長く、読書に最適な季節です。頭と心の栄養に読書を楽しみましょう。

図書委員会のペープサート劇「ブレーメンの音楽隊」▶



『らぶすぽ東峰』次回予告

12月のらぶすぽ東峰 (予定)			
	場所	日にち	備考
健康体操『ヨガ教室』	宝珠山公民館	12月8日(火)	会員…無料 非会員・団体会員…1回800円 *マットはこちらで準備します。

◆学校づくり部会◆

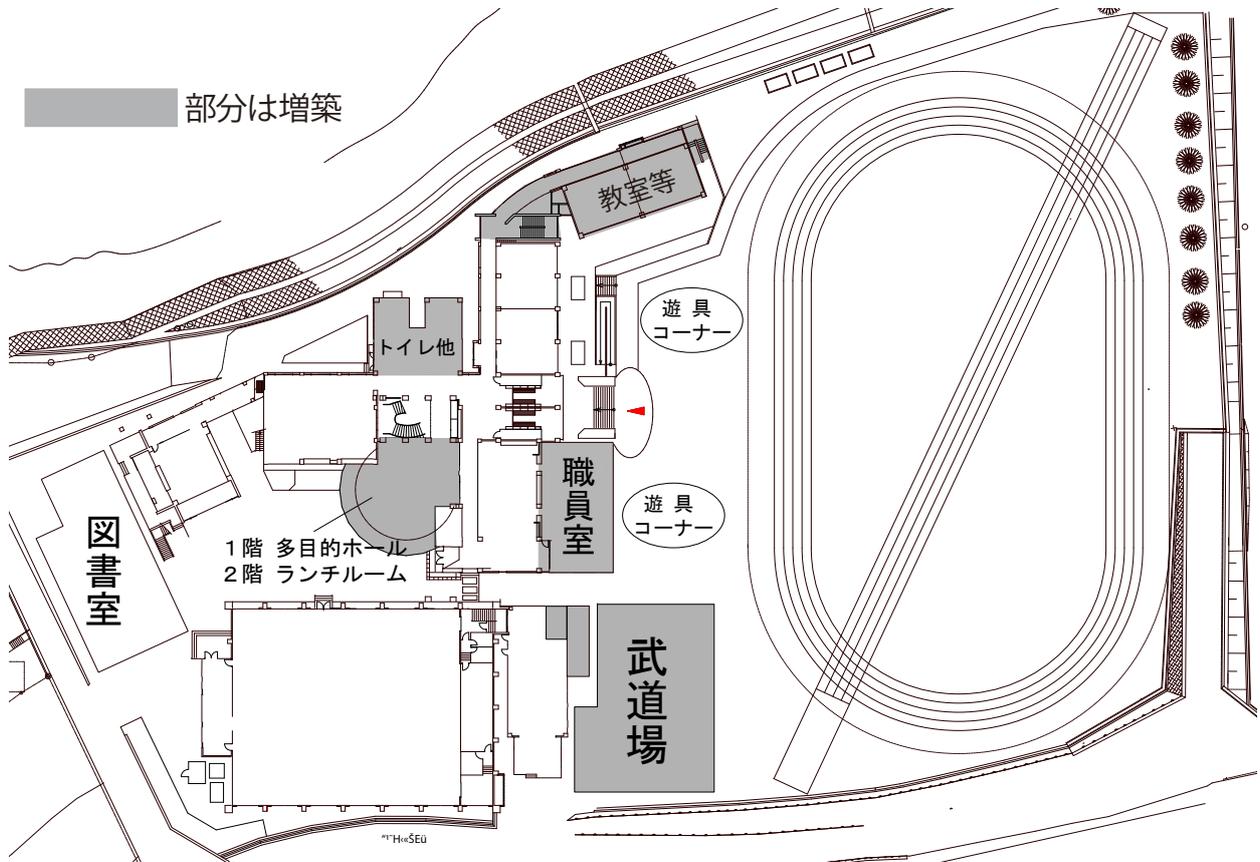
【小中一貫教育校の校舎配置が決まりました】

11月10日及び26日の学校づくり部会で、これまでの意見を集約し、配置を決定しました。

- ① 新築する武道場は、安全面や第2体育館としての活用を考え、グラウンド側に平屋で建てる。
- ② 足りない教室については、河川側のグラウンドに増築する。
- ③ 1・2年生の教室は出来るだけ職員室の近く、1階に配置する。
- ④ 3年から9年生の教室は、目が届くように2階までに配置する。
- ⑤ グラウンドは200mトラックと100m直線を確保する。

また、工事中の中学校については、騒音・安全・給食・運動場等、落ち着いて学習できる環境を考え、宝珠山小学校の校舎と一緒に学習するように決めました。

詳細な教室配置等は今後学校づくり部会で協議していきます。



◆学校教育部会（生徒指導部会）◆

第1回生徒指導部会について

第1回生徒指導部会を10月9日（金）に行いました。一貫教育校開校に向けて、生活のきまり（校則）の策定や児童会や生徒会立ち上げについて話し合いました。

生活のきまりについて

- (1) 一貫教育校としての基本方針の検討
- (2) 具体的な内容の検討

児童会・生徒会の組織等について

- (1) 児童会と生徒会の組織の検討



小中一貫教育 学校教育部会のこれまでの取り組み

1、保育所・保育園と小学校の交流

○小石原小学校と小石原保育園との交流



保育園から昨年一緒に育てたじゃがいもを1年生に届けにきてくれました。そのお礼に1年生から「大きなかぶ」の劇のプレゼントがありました。1年生は、園児に楽しんでもらおうと一生懸命に演技し、園児は1年生の姿に歓声をあげながら見ていました。「学校って楽しいところだな。」と感じてくれたことと思います。

○宝珠山小学校と美星保育所との交流



毎年、宝珠山小学校と美星保育所で一緒に芋植え・芋掘りをやっています。5月に一緒に植えた苗を10月に一緒に掘りました。高学年が園児を手助けしながら、たくさんの芋を収穫しました。園児にとって収穫の喜びだけでなく、小学校のお兄さん、お姉さんはやさしいという安心感を持つことができましたことと思います。また、高学年にとって、保育所との交流はリーダー性を発揮するよい機会になりました。

2、小学校同士の交流学習

○1・2年生合同の水遊び



9月のはじめ、小石原小学校と宝珠山小学校の1・2年生が合同で水遊びをしました。小石原小学校の1・2年生が宝珠山小学校のプールに行き、みんなで楽しく遊びました。小石原では、2学期に入ると気温が下がり泳げないのに、宝珠山ではまだ泳げること感激して楽しんでいました。